

平成24年行政事業レビューシート

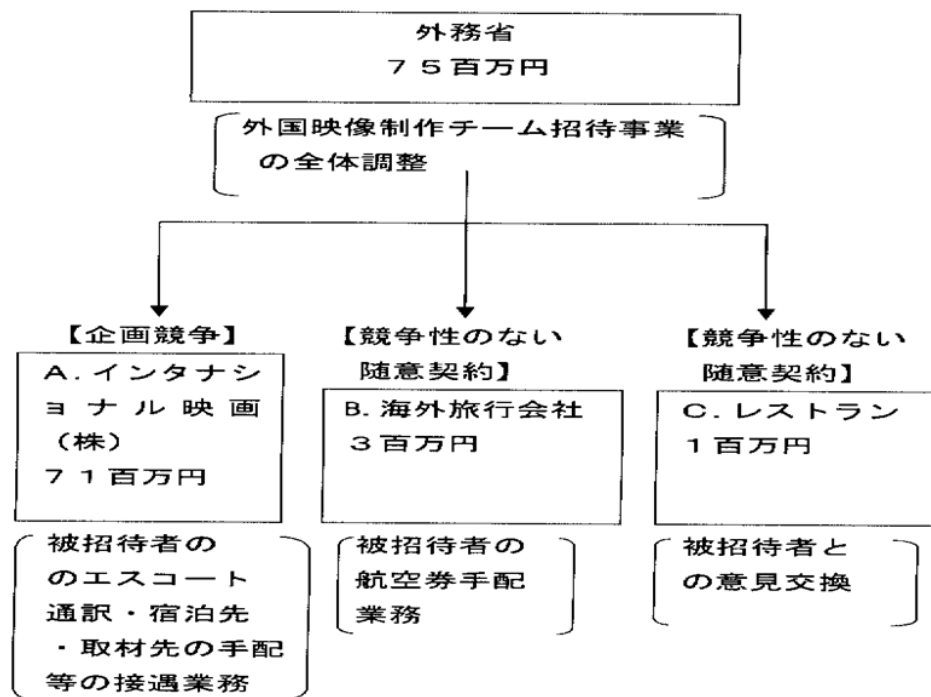
(外務省)

事業名	対日理解促進のための招へい事業 (映像制作チーム)	担当部局庁	外務報道官・広報文化組織	作成責任者								
事業開始・ 終了(予定) 年度	平成23年度補正予算	担当課室	広報文化外交戦略課	課長 米谷 光司								
会計区分	一般会計	施策名	Ⅲ－1 海外広報, 文化交流									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第24条	関係する計画、 通知等	—									
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東日本大震災の被害・影響から復興・回復へのプロセスを踏み始めている元気な日本のイメージの回復・普及を図る。											
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	外国テレビ局の番組制作チームを訪日招待し、東日本大震災の被害・影響から復興・回復へのプロセスを踏み始めている我が国の姿につき取材する機会を与え、我が国の文化、経済、社会、国民生活等の各分野の事情・現状について特集番組を制作させた上で、当該国で放映させる。											
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他											
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求					
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	—					
		補正予算	—	—	73	—						
		繰越し等	—	—	—	—						
		計	—	—	73	—						
	執行額		—	—	75							
執行率 (%)		—	—	102.4								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)				
	外国テレビチーム制作の日本特集番組により、 風評被害を払拭し、日本に対する正確な理解の 促進			成果実績	時間	—	—	5.1	—			
	1件平均のテレビ放映時間(単位:時間) なお、達成度の後ろのカッコ内は、本事業実施 に際し事業内容として定めた目標値。			達成度	%	—	—	340%(1.5)				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込				
	外国テレビチームの招へいの実施			活動実績 (当初見込 み)	—	—	11 〈10〉	—				
単位当たり コスト	6,786千円/件			算出根拠	74,646千円/11案件							
平成24・25 年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由								
	計	—	—									

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	メディアを通じて広く海外に我が国を広報することは国民ニーズに合致。また、国が実施することで、特定地域に限られない多面的な日本事情の発信が実現できる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	接遇業者は企画競争をもって選定する等、支出先の選定は競争性が確保された妥当なもの。事業目的に則して真に必要な費目・使途に限定することで、昨年度のレビュー・シートで想定した1件当たりのコスト(9,111千円)の3/4のコストで実際は運用し、コスト削減にも努めた。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	メディアの中でもTVは視覚的に訴えるものであり実効性が高い。本事業の場合、基本的に制作せしめた番組がどれだけの時間放映されるかが一番大きな成果目標であり、その成果実績は十分に上がった。活動実績は当初目標の10件を上回る11件であり、その成果物たる番組は着実に放映され、活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	東日本大震災後の復興・発展する我が国の現状への認識・理解を高めるという意味で、かかる現状等を内容とする番組の外国での放映を内容とする本事業は、高い効果があったと判断出来る。		
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
TV放映という発信ツールは、視覚的に訴えるという点で有効なもの。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新23－18

個別事業名：

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)



個別事業名：

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.インタナショナル映画(株)(イスラエル)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	通訳, エンジニア, コーディネーター	3			
宿泊・食費	東京, 京都, 大阪, 松島(宮城県)	1			
借料	車輛, 機材	1			
移動費	国内切符(含む通訳, エンジニア, コーディネーター)	1			
雑費	入場料, 資料映像等	1			
管理費	接遇業務全体の管理経費	1			
計		8	計		0
B.(社)国際交流サービス協会			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
渡航費	国際航空券	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名：

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	インタナショナル映画(株)	被招待者へのエスコート・通訳・宿舍先・取材先の手配等の接遇業務	71	3	企画競争
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	被招待者の航空券手配業務	1	随意契約	
2	阪神トラベル・インターナショナル(株)	同上	0.5	同上	
3	Ayarwaddy Legend Travels	同上	0.4	同上	
4	SHINTAKE TOUR	同上	0.3	同上	
5	JAPAN AIRLINES	同上	0.3	同上	
6	UNIVERSALHOLIDAYS INC.	同上	0.3	同上	
7	HANA TOUR	同上	0.1	同上	
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大東企業(株)	被招へい者との意見交換	0.2	随意契約	
2	(株)エービーシースタイル	同上	0.2	同上	
3	(株)うかい	同上	0.1	同上	
4	(株)銀座天国	同上	0	同上	
5	(株)フードワークス	同上	0	同上	
6	(株)聘珍樓	同上	0	同上	
7					
8					
9					
10					